

誰もが夢中になる 四国の魅力を広めたい

全てを巻き込み
地域を盛り上げる熱意。

NPO 四国夢中人
以下「夢中人」「地域のためになる企画」を思いつくり、とにかく走り出していく。企業の発展は全くない、インクトを行う資金もない状態ならぬだが、夢中人は設立するまで専業主婦のお母さん。行政や企業との接点は全くない、インクトを行なうといふ「協力をうながす」ため、「協力をうながす」行政の責任者は半ば強引に会って企画の提案を繰り返すよしと話す尾崎さんは、「純粋さと熱意で心を動かされた人も多い」と感動した」と尾崎さんは当時を振り返る。

どうしても会ってみたかった元を証ねたのが、当時京都大学在学中の専業主婦の「夏休みなどに子どもや孫が帰つくるのを出でよう」と道沿いに小さな家のひまわりを植えていたんです。そのひまわりを植えていたんです。その後、感動した」と尾崎さんは当時を振り返る。

この時に尾崎さんは、「夏休みなどに子どもや孫が帰つくるのを出でよう」と道沿いに小さな家のひまわりを植えていたんです。その後、感動した」と尾崎さんは当時を振り返る。

市などの協力のもと「塩飽諸島プロジェクト」を開始。「プロモーション撮像撮影で塩飽諸島へ足しきくよううちに、島の人たと少しつれ風を溌めるように」などた。

香川県丸亀市に住む尾崎さんには

「塩飽諸島の歴史旅行中に個人が人気を集めていたことを知り、平成20年「NPO 四国夢中人」を設立。

欧洲と四国つなぎ、四国の魅力をPRしてきた。

現在は、「瀬戸内海三島を塩飽諸島の魅力を伝める尾崎さん」

その活動する姿を紹介する。

四国の魅力をPRしてきた。

現在は、「瀬戸内海三島を塩飽諸島の魅力を伝める尾崎さん」

その活動する姿を紹介する。

夢中に走り続ける

パワフルなお母さん

せを重ねてきた。4月29日に行わ

れたイベントには、花の苗を

提供した香川丸亀農業学校の生徒や香川県、監督企業関係者など約90人が参加。

約2,000ポンドのキンセンカ

やラベンダー、サンザクラなどの苗を手島幼稚園の園長教

育センターに向かう道筋に

植え付けた。「自分の育てた

植物を贈ることで島民に喜

んでもらえれば」と生徒たちが

自ら参加を決めなんですよ」と先生はいう。さあやまな立場

の人たちが美しい手島を感じ

るために汗を流す様子は、まる

で大きな家族のようだ。

「活動を通じて人の輪が広がっていく。地域に魅力を感じた人たちに持続してもらえる活動に参加すれば、尾崎さんは母の顔で話す。そのため汗を流す様子は、まるで大きな家族のようだ。

「活動を通じて人の輪が

広がっていく。地域に魅力を感じた

人たちに持続してもらえる活動に

参加すれば、尾崎さんは母の顔で話す。

ため汗を流す様子は、まるで大きな家族のようだ。

「活動を通じて人の輪が

広がっていく。地域に魅力を感じた